

(社)全日本鍼灸学会

平成 22 年度 第 1 回理事会 会議議事録要旨

1. 開催の日時及び場所

日 時：平成 22 年 6 月 11 日(金) 午前 11 時～午後 1 時
場 所：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）
大阪市北区中之島 5-3-5（TEL 06-4803-5555）

2. 議事の経過要領および結果

司 会：事務局長 福村 昭
挨拶：会 長 後藤 修司
議 長：会 長 後藤 修司

議事に先立ち、伊藤大会会長、安藤実行委員長、後藤会長から挨拶があった。

【報告事項】

1. 各部中間事業報告（平成 22 年 3 月～5 月）
各部部長から資料に基づき報告があった。
2. W F A S 鍼灸標準化ワーキンググループ参加報告
若山国際部部長から資料に基づき報告があった。形井参与から 8 月に開催される次回会議に向け、日本の関わり方を検討していく必要があるとの発言があった。
3. 「エビデンスに基づく腰痛症の鍼灸医学」について
川喜田研究部長から発刊の旨、報告があった。英語版についてはオンラインジャーナルにて掲載予定。
4. 認定委員会中間報告
福村認定委員会事務局長より資料に基づき説明があった。認定講習会は活発に開催されており、講習会数は前年度と同様になる見込みである。また、今後も引き続き認定者を増やす方策を検討していく。学会誌に同封している講習会案内は、本来支部が開催する研修を案内するものであるが、C 講座の掲載については、支部長を通して依頼があったものを掲載する。
5. 第 60 回学術大会準備報告
妹尾実行委員長より報告があった。大会日程を平成 23 年 6 月 17 日（金）～19 日（日）に変更したため、総会で説明を行って周知を図る。今回の日程変更は国際東洋医学会総会と日程が重なったためだが、若山国際部長から、今後もこのようなことが起こることを想定し、規約をつくりお互いに確認しあうことが必要であるとの発言があった。
また、大会テーマは「新たなる医療へ 心と身体を見つめる日本鍼灸の叡智」に決定したことが報告された。

【審議事項】

1. 平成 21 年度事業報告

各部部长から平成21年度の事業報告があり、審議の結果、平成21年度事業報告は賛成多数で承認された。

2. 平成21年度決算報告

小川財務担当副会長から資料に基づき報告があった。審議の結果、平成21年度決算報告について賛成多数で承認された。坂本副会長から、公益法人化に向けて遊休財産を明確にした上で、各新規事業に予算を振り分けていくべきとの発言があった。

3. 平成21年度監査報告

宮本監事から、平成22年5月23日に定款第15条に基づき、矢野監事と共に監査を行った結果、正当かつ妥当であったとの報告があり、平成21年度監査報告は賛成多数で承認された。

また、宮本監事から、支部ごとに書類の様式が違ったため、今後は統一様式を本部から指示してほしいとの要望があった。それに対し、福村事務局長からは、前年度も支部に対してフォーマットを送っているが、今回のような結果となった。今後さらに徹底できるような方法を考えていくとの発言があった。

4. 入会規程、本部委員会規程及び国際シンポジウム積立金に関する規定の一部改正について

小川副会長より資料に基づき説明があった。審議の結果、規程の一部改正について賛成多数で承認された。

5. 第61回学術大会開催地について

小川副会長より、中部支部が主管する第61回学術大会を三重県四日市市にて開催することが決定したとの報告があり、賛成多数で承認された。

6. 会長指名役員候補者について

後藤会長より会長指名役員候補について、副会長を広井良典先生、理事として東郷俊宏先生を指名し、小野直哉先生を参与として広井副会長の補佐とする旨、報告があった。審議の結果、会長指名役員候補について賛成多数で承認された。

7. 入会審査

平成22年3月23日から6月10日までの間に入会申請のあった者に対して入会審査を行った結果、全員の入会が賛成多数で承認された。

以上、すべての議案について賛成多数で承認された。

以上をもって平成22年度第1回理事会の議事を全て終了した。

理事会の議事の経過要領およびその結果を証するため議事録を作成し、議長および議事録署名人は次に署名・捺印する。

平成22年6月11日